

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) アテツ石灰化工株式会社	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 7 1 9 - 2 5 5 1 岡山県新見市井倉 5 2 7 - 1
----	----------------------------	----	--

本票作成 部署名：技術課

主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業
-------	-------	----	----------------

事業の概要	生石灰製造、加工 従業員：12人
-------	------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	井倉工場	岡山県新見市井倉 5 2 7 - 1

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和3)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	14,893 t CO ₂	11,621 t CO ₂	14,148 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和3)年度排出量
	①	井倉工場	11,621 t CO ₂
		t CO ₂	
		t CO ₂	
		t CO ₂	
		t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間： 令和2年度 ~ 令和6年度 (5箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準 (3)年度削減実績 目標削減率 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準 14.6 % 5.0 % <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生石灰製品製造に要するエネルギーに伴って発生するCO ₂ を生石灰生産量で除した値 kg CO ₂ /t/Cao	原単位当たり排出量		
		基準年度	(3)年度	目標年度
		215.000	183.530	204.300

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和3年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・省エネ法の管理標準に基づき、エネルギー使用状況を把握しながら、省エネ対策に取り組んだ。2021年度は基準年度に比べて、リサイクル燃料である再生重油の使用比率が増加したため温室効果ガスの削減が進んだ。今後も対策を検討し、着実に削減を進めたい。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している
- ・社長をエネルギー管理統括者とし、エネルギー企画推進者、エネルギー管理企画推進者を選任し省エネを推進
- ・日本石灰協会の一員として低炭素社会実行計画に参画

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
井倉工場	<p>(令和3年度実施分)</p> <p>①中央監視制御装置PC更新工事により、以前よりエネルギー使用状況や熱源単位の状況が把握しやすくなった(見える化)</p> <p>②リサイクル燃料(再生重油)の使用比率アップ</p> <p>(今後実施予定分)</p> <p>①炉修時に、より断熱性の高い耐火煉瓦の採用(放散熱低減)</p> <p>②燃焼効率の良い燃焼バーナーの採用</p> <p>③廃熱の有効利用検討</p> <p>④古くなった照明は順次LED照明へ更新する</p> <p>⑤再生重油の使用比率アップ</p> <p>⑥燃焼空気比の適正管理</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

・省エネ法による原油換算で、年1,500KL以上のエネルギーを使用する特定事業者該当するが、県の条例による温室効果ガス公表制度の要件「常時雇用する従業員が21名以上」から外れるため、非エネルギー起源によるCO₂(5.5ガス)発生量は報告しない。(エネルギー起源のCO₂のみ報告)